

一般質問

和田
議員

○公共施設の更新について（鷹島地区を例にして）

質 市政概況報告の中で「鷹島地区の学校整備については、学校整備方針に基づいて具体的な施設内容を示した基本計画を策定する。」と言われましたが、学校整備方針の内容について伺う。

教育総務課長 鷹島地区学校施設整備方針については、三つの基本方針として、①小中一貫教育と多様な学習内容、学習形態に対応できる教育環境、②安全・安心、心豊かな学校生活を送ることができる施設環境、③地域コミュニティの拠点としての施設環境、これらの整備を掲げている。

質 小中学校の建設予定地に隣接する市有地に公共施設を移転整備する構想があると聞いている。どのような施設を考えているのか。

会計管理者 現時点での計画では、鷹島支所、公民館などを含めた複数の公的施設を同じ敷地内で整備しようと考えている。

質 鷹島地区のように、具体的に複数の事業が進められている状況においては、庁内の組織体制の確立は急務である。市長の所見を伺う。

副市長 複数の公共施設を集約していくという基本的な構想、方針を持つている。関係課が一堂に会するプロジェクトチーム的な組織を早期に立ち上げて具体的な検討に入っていきたい。

○市民協働まちづくり事業の現状と今後について

質 この事業の創設目的、開始年度などについて伺う。

建設課長 各地域からの道路や河川に関する要望事項が多く、この全てには対応できない状況を踏まえて、地域でできる作業については地域の皆様の協力をいただき、事業を実施することを目的として、平成24年度から実施している。

質 市長が施政方針の中で述べられた「小学校区を対象とした協働によるまちづくりの推進」との関係について市長の所見を伺う。

市長 市民協働まちづくり事業は年々増加傾向にあり、7年間で4000万円を超える予算を投じている。市民皆様の協力があつてこの金額で事業が実施できたことに大変感謝している。また、地域のコミュニティの強化、醸成にも大変有効な事業と考えているので、今後もその効果を十分に把握した上で、「小学校区を対象とした協働によるまちづくり」の具現化の中で検討していきたい。

一般質問

安江
議員

○青島診療所の常駐医師確保について

質 青島地区から、常駐医師の確保を強く要望されている。今年4月、70歳代の方が、夜間に激痛を我慢され、知人から病院受診を勧められたが、「夜の明けんば、気の毒か」と受診されず、明け方に救急搬送されたが、心筋梗塞で亡くなられている。また、青島地区の体験型旅行が根付いている中で、常駐医師不在は、今後影響が出てくるのではないかと考えるが、現状認識と今後の対応、計画を伺う。

市長 常勤医師が不在で、夜間診療ができず、体験型旅行を受け入れている中で診療体制が十分でないことについては、そのまま放置することはないという認識は十分持っている。しかし、医師不足の中で離島に来ていただく医師が見つからない問題もある。今回そのような事例が再び起こらないように、医師確保は当然だが、今後限られた財源の中で、どのような対策を講じることが最も



青島診療所

地域にとって良いのか十分に検討していきたい。

○げんきっこひろばの存続について
質 げんきっこひろば利用の方々は、「私たちの事を私たち抜きで決めないで下さい」との思いだが、2月27日、5月8・11・31日に今後の事を報告されたが、「報告会」の手法はいかがなものか。

市長 2月の報告会のあと、利用者からのお手紙等々を見て、まさに対話をしなければならぬということ、5月8日の意見交換会を実施し、その中で出された意見を踏まえ利用者の思いに応えるためには何ができるのかしっかりと検討し、31日にそのことを踏まえて改めて意見交換会を実施した。決してやるべきではなかったとは思っていない。

質 げんきっこの建物が壊されるとしても、サービスの代替えの検討が基本ではないか。

市長 当初から民間に委託することを前提にこの事業がスタートした。それが事業者の撤退によって暫定的な措置として行政が担ってきた。民間の業者がやるということであれば民間に委ねていくことは財源が限られる中ではやむを得ないことだと思う。

質 今後の対応はいかがか。

市長 今後はしっかりと利用者の皆さんと話し合いをしながら取り組んでいきたい。